

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議への家族の参加が年に1回(定例会際の家族会)となっており、今後、家族の参加が得られるよう開催前の案内で参加を促す取り組みを改善。	ご家族に参加してもらう事で、各職種や地域がが取り組んでいる高齢者や認知症の方への取り組みや課題点を知って頂く機会となる他、施設での具体的な活動内容を把握されることで安心され意見交換の場ともなるようにする。	月末のお便りでお知らせと参加の出欠をとる。参加されたご家族からはご意見やご質問をもらい議事録に掲載。単発で終わらずリレーしている形にし議事録は全ご家族に郵送。	2ヶ月
2	9	利用者様の「その人となり」をさらに把握するために一人ひとりに対する「気づき」をすぐに書き留められる仕組みを作り、得た情報を検討・共有し新たに本人の思いの把握を行うツールを作成。	日常の職員の思い込みや流してしまう事を解消し、利用者様の言動の些細なことに気づく視点を持つこと。話し合うことでとらえ直し、その人に添った個別支援を行えるようにする。	居室担当に拘らず、ユニット単位で利用者様の日々の情報を集めていく。同時にご家族やご友人などからも聞き取りを行い、本来のご本人の思いやなぜその言動に繋がるのかを整理していき、ユニット会議で報告しあい全体会議で発表し職員が共有していく取組を行う。	3ヶ月
3	35	行っている施設での活動(防災活動や救命訓練)の内容やスケジュールを、ご近所や地域の方へ案内するなど、地域と一体となった防災活動にしていく。	地域に支えられての事業所でもあり、グループホームがどんな施設かと関心を持たれている方も多く、施設での活動で地域の方が参加できることや情報を共有し馴染みの施設になれるようにする。	地域包括にも協力を頂きイベントや講習会などに参加する。事前に予定が決まっている行事には参加を呼びかける。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。